

上平村の文化財

No.
28

1 上平村の文化財の特徴

上平村は、富山県の南西端、庄川沿いの山深い豪雪地帯に位置します。この地に人々が暮らし始めたのは縄文時代の頃からで、村内の各所から当時の石器や土器が発掘されています。この地方は古くから「五箇山」と呼ばれ、平家の落人伝説が生まれたり、加賀藩の流刑地になりました。自然に恵まれた山村での生活の中から、世界遺産菅沼合掌造り集落や、国指定重要文化財岩瀬家を始めとする合掌造り、古くから伝わるたくさんの民謡や伝説に代表される独特の文化財が生まれてきました。また、人々の信仰心が厚い土地柄で、浄土真宗のお寺や念仏道場、宗教に関わる文化財も多くあります。



上平村記念物地図

2 記念物見て歩きガイド

「世界遺産菅沼合掌造り集落」

昭和45年に国史跡の指定をうけ、平成6年に重要伝統的建造物群保存地区に選定され、平成7年に世界遺産に登録されました。集落には「合掌造り」といわれるこの地方独特の急勾配の茅葺屋根の家屋が建ち並び、周囲の田畑と共に、山間地に開けた集落としてその形態がよく保存されています。



「国指定重要文化財岩瀬家」

昭和33年に国の重要文化財に指定された五箇山最大の合掌造りです。今からおよそ300年前に加賀藩の塩硝上煮役の住宅として建てられたもので、藩の役人が宿泊することもありました。建物は準5階建てで、書院の間や武者隠しの間などがあり、3階から5階までは間仕切りがなく、養蚕の作業場として使われていました。



「県指定文化財旧上中田念仏道場」

当念仏道場は、今からおよそ300年前に上平村上中田地区に建築され、地区の人々によって守られてきましたが、平成7年に村内の小原地区に解体移築され、創建当初の姿に復元されました。保存状態が良好で、真宗寺院の古い形態である道場の五箇山地方における典型的な建築物として貴重な建築物です。



「県指定文化財羽馬家」

近代の道路が整備されるまで、五箇山から砺波平野への交通の要所であった小瀬集落に建築されました。五箇山の合掌造りの中でも、際立って良質の材料と優れた技術によって建てられた、この地方を代表する大型合掌造りの一つです。当家は加賀藩時代に代々肝入役を勤めた家柄で、多くの古文書が保存されています。



3 上平村の文化財一覧

番号	指定別	種別	名称	員数	所在地	所有者又は管理者	指定月日
1	国	建造物	岩瀬家住宅	1棟	上平村 西赤尾町857-1	岩瀬幹夫	昭33.5.14
2	〃	史跡	越中五箇山菅沼集落		〃 菅沼	上平村	昭45.12.4
3	〃	伝統的建造物群	上平村菅沼伝統的建造物群保存地区		〃 〃		平6.12.21
4	県	建造物	旧上中田念仏道場	1棟	〃 小原尻崎14	上平村	平10.2.25
5	〃	〃	羽馬家住宅	1棟	〃 小瀬24	羽馬誠一	〃
6	村	建造物	行徳寺の山門と庫裡	2棟	〃 西赤尾町字村中	行徳寺	昭44.10.1
7	〃	〃	皆葎住吉神社奥殿	1棟	〃 皆葎萩平	皆葎集落総代	昭45.10.1
8	〃	彫刻	西赤尾八幡宮のご神体一群及こま犬2番		〃 西赤尾町字村中	西赤尾町八幡宮	昭44.10.1
9	〃	〃	乙剣社御神体	1躯	〃 小原字宇山486	小原集落総代	昭48.9.20
10	〃	〃	聖光寺の太子像	1躯	〃 楮	聖光寺	昭48.12.14
11	〃	古文書	成政の制札	1幅	〃 真木138	真田治悦	昭44.10.1
12	〃	〃	十日講起請文	1幅	〃 細島864	生田長範	〃
13	〃	〃	血染の名号	4幅	〃 漆谷	高原忠正	昭48.12.14
14	〃	民謡	五箇山民謡(8曲)		〃 小原	越中五箇山民謡保存会	〃
15	〃	天然記念物	赤尾の宮のけやき		〃 西赤尾町字村中230	西赤尾町集落総代	昭44.2.4
16	〃	〃	東赤尾の夫婦杉		〃 東赤尾横平114	東赤尾	〃

4 イベント案内

春祭り：4月下旬から5月上旬村内の各集落

5 問い合わせ先等

上平村教育委員会

TEL 0763-67-3650